

1 『横浜市空家等対策計画』改定に向けた進め方

スケジュール（予定）

	第16回 協議会	第17回 協議会	実態調査	第18回 協議会
	令和4年 3月2日	6月	7月～10月	令和5年 1月
議論の視点	スケジュール 確認	実態調査の概要	-	実態調査 結果報告

▶ 令和4年度

住生活基本計画改定

	第19回 協議会	市会報告	第20回 協議会	市会報告	市民意見 募集	第21回 協議会	市会報告
	令和5年 7月	9月頃	11月上旬	12月	12月～ 令和6年1月	1月	2月
議論の視点	改定の 方向性	改定の 方向性	素案策定	素案		案	計画改定

▶ 令和5年度

2 『横浜市空家等対策計画』改定の考え方（案）

横浜市住生活基本計画改定に関する答申素案概要（R3.12：空家関係抜粋）

空家化の予防 【重点】

- ①相談・情報提供の充実
- ②所有者等への普及啓発
- ③所有者による適切な管理の義務化
- ④市民力を生かした維持管理の促進

空家の 流通・活用促進

- ①空家のリノベーションによる流通の促進
- ②地域活性化に向けた多様な利活用の促進
- ③相談・情報提供の充実（再掲）

管理不全な空家の 防止・解消

- ①所有者等への普及啓発、改善指導
- ②除却補助の支援や多様な主体との連携による自主改善の促進
- ③切迫した危険に対する行政による安全確保

空家の跡地活用

- ①防災広場等としての跡地の活用（地域の環境改善等に資する跡地の活用）
- ②老朽化した空家の除却・建替えの推進

答申素案を踏まえ・・・

▶ 予防施策の強化

「空家等対策計画」では、「空家化の予防」を取組の柱の一つとして掲げており、なかでも持ち家で暮らす高齢者は、福祉施設への入所や相続による空家の発生につながりやすく、将来に対する準備を早い段階から進めることが重要

▶▶ 今後の取組の方向性を検討するための実態調査

【R4年度】空家の実態調査・空家所有者への意向等調査

地域特性の異なる2地区※で、空家の実態調査を実施したうえで、「空家等対策計画」において主な対象とされている「戸建て空家」の所有者に対し、空家となった背景や今後の意向等についてアンケート調査（委託）を行い、今後の予防施策等の方向性を検討

※戸建て住戸数：2千～3千程度／地区

【今後検討】高齢者のみ世帯（空家予備軍）への意向等調査

2 『横浜市空家等対策計画』改定の考え方（案）

今後の取組の方向性を検討するための委託調査について

水道閉栓情報により、1年以上使用実績の無い世帯の抽出

「調査表」に従った、現地調査の実施

<調査表で確認する事項>

- ①空き家の状況(空家判定)、住宅分類
- ②建築基準法(集団規定)等所見→用途地域、接道状況
- ③活用の可能性(敷地の高低差、周辺環境、アクセス、駐車場の有無等)
- ④●●

空家の所有者調査を行い、
「アンケート」を実施（R4）

<アンケートで確認する主な事項>

- ①所有者の属性
- ②管理状況
- ③空家になった時期及び理由
- ④当該建物の今後について
- ⑤横浜市・自治会に期待する空家のこと
- ⑥●●

高齢者のみ世帯を対象とした
「アンケート」調査の検討（今後検討）

<アンケートで確認する主な事項>

- ①所有者の属性
- ②管理状況
- ③当該建物の空家リスクについて
- ④当該建物の今後について
- ⑤横浜市・自治会に期待する空家のこと
- ⑥●●